

指定管理者評価表(外部評価シート)

1. 基本事項

1. 基本事項		評価対象期間		令和6年4月1日 ～ 令和8年3月31日		
施 設 の 概 要		指 定 管 理 の 状 況				
名 称	可児市体育施設	指 定	名 称	公益財団法人可児市体育連盟		
所 在 地	可児市坂戸987番地4 可児市運動公園 他	管理者	所在地	可児市谷迫間806番地2		
設 置 目 的	スポーツを通じて、市民の健康増進、明るく豊かな市民生活の形成及び健全な青少年の育成を図ること	指定管理期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日（5年間）			
		選 定 種 別	公募	利用料金制	採用	
		業 務 内 容	(1)指定管理施設の管理に関する業務			
			(2)指定管理施設の使用許可に関する業務			
供用開始年月	昭和57年4月ほか	(3)指定管理施設の使用にかかる料金に関する業務				
施設所管部署	市民文化部 文化スポーツ課	(4)指定管理施設の維持管理に関する業務				
		(5)その他必要な業務				

2. 施設の運営状況

① 利用状況

項目	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)
開館日数	241 日	248 日	295 日	295 日
施設利用者数	267,396 人	293,717 人	280,315 人	289,161 人
施設稼働率	38.1 %	39.9 %	38.4 %	39.0 %

※運動公園グラウンドは令和5年11月から大規模改修工事

② 自主事業実施状況

項目	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)
開催回数	195 回	187 回	202 回	194 回
参加人数	1,496 人	2,033 人	1,960 人	2,103 人

③ 主な自主事業の内容

実施年度	事業の名称等	参加人数
令和7年度	ソフトテニス教室(初級・中級・アドバンス)	343 人
令和7年度	トレーニング講習会	338 人
令和7年度	夏季プール事業(水上遊具で遊ぼう)	226 人
令和7年度	ソフトテニス教室(初級・中級・アドバンス)	158 人
令和7年度	リフレッシュエクササイズ&ヨガ	111 人
令和7年度	夏季プール事業(水上遊具で遊ぼう)	226 人
令和7年度	カヤバスタジアムベースボールクラシック	65 人

3. 収支状況

① 収入

単位:円

項目	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	令和6年度(3年目)	令和7年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
指定管理料	74,000,000	74,000,000	74,000,000	74,000,000	74,000,000
利用料収入	28,580,560	31,616,690	31,909,300	32,468,000	31,853,894
自主事業収入	3,207,004	3,538,078	4,085,433	9,807,000	5,321,193
委託費	2,899,600	2,326,500	0	0	0
負担金(※)	8,056,426	4,490,401	1,814,913	0	969,515
収入計 A	116,743,590	115,971,669	111,809,646	116,275,000	112,144,602

※負担金は電気料金補填分

② 支出

単位:円

項目	令和4年度(1年目)	令和5年度(2年目)	令和6年度(3年目)	令和7年度(4年目)	
	実績	実績	実績	計画	実績
人件費	33,348,158	36,792,092	38,284,203	34,664,000	33,311,736
管理費	26,046,133	22,618,404	19,767,885	18,629,000	19,056,765
事業費	519,085	535,497	9,377,955	6,396,000	6,055,396
事務費(※1)	5,195,122	6,642,702	6,271,647	6,265,000	6,172,695
委託費(※2)	38,278,044	39,710,897	37,739,601	39,587,000	37,866,198
修繕費	5,116,179	4,873,333	3,388,745	5,000,000	4,894,187
自主事業支出	2,423,559	2,135,644	2,400,225	1,193,000	2,566,278
支出計 B	110,926,280	113,308,569	117,230,261	111,734,000	109,923,255
収支 A-B	5,817,310	2,663,100	-5,420,615	4,541,000	2,221,347

(※1)事務費には事務経費を含む (※2)その他委託料を含む

4. 評価結果

区分	評価項目	評価内容	一次評価(施設所管課)		二次評価(選定評価委員会)	
			評価理由等	評価	評価理由等	評価
業務の履行	事業計画書及び協定書に掲げる業務の実施状況	事業計画書や協定書に掲げる業務が確実に実行されているか	適切に実施している。	B	猛暑対策を適切に行っていることなど、不測の事態に備えている点を評価する。設備の経年劣化への対応を適切に行い、予算内で修繕して利用者の利便性を担保している。利用者数は、コロナ前の8割まで回復するなど徐々に増加傾向が見られる。トレーニング室の利用が一層増加することを期待している。人件費や物価高騰など、昨今の状況が難しい中、限りある予算の範囲内で工夫しながら適切に経営されている。	B
	人員配置及び職員研修の状況	必要な人員が確保され、職員研修も実施されているか	適切に実施している。	B		
	文書・帳簿の管理保存状況	管理業務に関する文書・帳簿は適切に整理保管されているか	適切に実施している。	B		
	施設設備・備品の保守管理の実施状況	管理施設の設備・備品の保守管理状況は適切か	施設の点検を定期的に行い、予防的修繕を行うことで、備品を適切に管理している。	B		
	緊急時の対応方法	緊急時の対応マニュアルや事後の対応への備えができていないか	各種マニュアルを作成し、緊急対応も適切に行われている。	B		
	利用者の推移	利用者が特別な事情がないにもかかわらず前年度に比べ減少していないか	前年度よりも利用件数は若干減少したが、利用者数は増加している。	B		
サービスの水準	サービス向上及び経営改善に関する独自の取り組み	サービス向上等に向けた独自の取り組みは実施されているか	女子野球大会を誘致し、市の魅力発信と施設の知名度の向上に貢献している。	A	SNSは若者・家族への有効な広報手段であるため、更なるPRに期待したい。その他、看板類の設置など知名度の向上のための意欲的な取り組みが見られたが、定量的評価に基づき、次年度に生かしてもらいたい。一方で、アンケート回答の収集方法の工夫を検討する必要がある。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	利用者の施設満足度は高いか	約80%の利用者が「満足」と回答しているが、講座やイベントについては「どちらでもない」が70%以上であるため、告知方法を工夫されたい。	B		
	PR・情報提供の実施状況	様々な方法により、積極的なPRや情報提供が行われているか	施設の適正な利用を周知徹底するための看板類を設置し、利用者への情報提供を適切に実施した。	B		
	苦情処理の状況	苦情に関する帳簿が作成され、内容は職員に周知され、適切な対応がなされているか	市への迅速な報告とともにフィードバックを行い、職員への周知も実施して適切に対応している。	B		
収支状況	指定管理経費の経理事務の状況	指定管理費に関する経理事務は適正に行われているか	人件費の高騰分を他の支出削減によって補填するなど、適切に経理を実施している。	A	改修工事による利用者数減少の中、限られた予算で創意工夫し黒字を確保し、利用者の満足度を維持している。物価高騰が続く中、光熱水費の削減や自主事業での財源確保に工夫されている。なお、租税公課の増加は課税事業者になったことによるもので問題ない。	B
	指定管理者施設の財務状況	指定管理者施設の財務状況は適正か	人件費や電気料金の高騰により支出が増加しているが、予算執行は適正にであるといえる。一方、自主事業については収入が減少している一方で支出が増えており、見直す必要がある。	B		
総合評価			人件費や物価高騰など非常に厳しい状況の中で、効率的な管理運営や業務を実施できていると評価できるため、総合評価を「B」判定とする。	B	「所見」欄に記載	B

所見	気候に左右されやすい施設を決められた予算の中での創意工夫を評価する。スポーツは、幼児から高齢者まで健康・成長・生きがい作りに欠かせないことの理念のもと、今後一層厳しくなる状況を市・市民と一体となり推進されたい。施設利用者による自主的な清掃活動など、心温まる出来事など一層の広報を推進されたい。物価高・人件費高騰の中、限られた予算に対し質を維持する姿勢が見られる。利用者数に関して、特にプールの利用は高水温や落雷の心配、水の安全(身体のケガ等)を最優先しておられることから、休止などの英断を今後お願いしたい。利用者アンケートの収集方法は二次元コードを使用して実施しているが、既に利用されている方々の満足度は一定レベルに達しており、運営力は問題ないと思われるので、現在「施設を知らない」ために利用していない市民に対して、より回答を得られるように声掛けをするなど、アプローチを工夫されたい。前年度に比較して苦情・事件・事故が大幅に減少しており、大過なく事業運営を行っている。一方で、若い世代やファミリー層を取り込むため、SNSの発信やこの層に向けた企画をもっと増やすといい。
----	---

5. 参考(評価基準)

① 区分別評価基準

◆業務の履行

評価	内 容
A	適切に実施されており、より効果的に業務が実施されている。
B	適切に実施されており、特に改善等を要する事項はない。
C	概ね適切に実施されているが、その一部に改善を必要とする事項が見受けられる。
D	要求事項が実施されていないか、実施されていても適切ではないため大幅な改善が必要である。

◆サービスの水準

評価	内 容
A	サービス水準の向上が認められ、独自の工夫も多く見受けられる。
B	サービス水準は概ね維持されている。
C	サービス水準の一部に低下が見られ、サービス向上の努力が必要である。
D	サービス水準が低下していると認められるため、サービス向上に向けた大幅な改善が必要である。

◆収支状況

評価	内 容
A	収支は計画に比べ向上が見られる。また、財務状況も良好である。
B	収支は概ね計画どおりと認められる。財務状況は良好である。
C	収支のいずれか、または両方が計画を達成していない。財務状況は良好である。
D	収支のいずれも計画を達成していない。財務状況も良好とはいえない。

② 総合評価基準

評価	内 容
A	適切に実施されており、評価できる点が多く、改善が必要と思われる重要事項もない。
B	概ね適切に実施されており、評価できる点もあるが、軽微な事項を含め改善が必要な事項がある。
C	適切に実施されている部分もあるが、改善が必要と思われる重要な事項もある。
D	改善が必要と思われる重要な事項が多く、早急な改善が必要である。